

<生活科学部>

2020年度卒業論文題目

社会心理学

1. 基本的性格特性が方向感覚不全におよぼす影響
岡田 紗季
2. ひとりぼっちに耐える力の規定因に関する社会
心理学的研究 吉田 有希
3. 手紙文作成時に使用される文字フォントが作成
者の性格特性推測におよぼす影響 冬瓜 美有
4. 恋愛関係における排他性感情と失恋ストレス対
処との関係 井川 茜恵
5. 父親・母親との過去の接触経験が自己主張性の
醸成におよぼす影響 高見 香奈
6. 外見スキーマに関する社会心理学的研究——理
想的な他者が抱くかもしれないスキーマを含め
て—— 田端 こと
7. チョコレートパッケージの認知に関する社会心
理学的研究 岡村 麻里
8. ジャニーズ・アイドルのCDの売上動向に関す
る社会心理学的研究——Sexy Zoneの場合——
山本 彩佳
9. 過去の対父親・対母親接触経験が結婚観におよ
ぼす影響——女子大学生の場合—— 中川 愛菜
10. 化粧リスク懸念の喚起におよぼす場面の効果
——状態特性としての化粧リスク懸念の可能
性—— 宮武 梨奈
11. ファッションリスク懸念の状況依存性に関する
社会心理学的研究 松本ほのか
12. BTS が表出した歌詞特徴に関する社会心理学
的研究 入江 舞

家族福祉学

1. 子どもの貧困問題の早期解決に向けた方策の基
本的な在り方——学習支援事業に着目して——
幸藤 志
2. “隠れた創造者たち”のアートに触れるための
視点——アウトサイダー・アートとアール・ブ
リュットの考察から—— 若江瑠璃子
3. 自殺発生の危機への公的対応——日本の文化的
視点から—— 東 奈々瑛

4. 学校を拠点とした福祉的支援の方向性をめぐる
課題——スクールソーシャルワーカーの政策的
位置づけに着目して—— 一丸 美紀
5. 働く女性の子育て支援をめぐる課題の考察——
京都はぐくみプランの分析とヒアリング調査の
結果を踏まえて—— 田中 遥菜
6. Narrative Life History——ある女性の恋愛人生
史—— 森 梓

環境計画学

1. 雇用型テレワーカーを受け入れる地域のあり方
——勤務地にとらわれない居住地選びを目指し
て—— 遠藤 史佳
2. 地産地消の観点から見る大阪府堺市の都市農業
市原 有紗
3. 京都観光のバリアフリー対策について——寺社
仏閣を事例として—— 柳本あまね
4. 商店街におけるミニシアターの集客効果——出
町榊形商店街を事例として—— 内田 萌
5. アートプロジェクトを用いて地域活性化をする
には 堀元 咲希
6. 子ども食堂における子どもの孤食解決に向けて
小林 咲良
7. 京都における近代建築の実態把握——生きた建
築の保存に向けて—— 塩野 楓
8. 若者に選ばれる富山県観光の構築に向けて
村田 有優
9. フードツーリズムにおける新たな観光形態——
三重県多気町「VISON」を事例として——
花井 莉子
10. 徳島県における移住施策の現状と課題
澤本 有希
11. 大都市大阪府における暑さ対策の現状分析
岸 真優子
12. インバウンド観光の実態と今後の取り組み
田頭みのり
13. インスタグラムから見る若者の京都観光
田邊絵礼奈

被 服 学

1. アニメ「カードキャプターさくら」のバトルコスチュームをリアルクローズに 米田 悠香
2. ディズニープリンセスにおける衣服の表現効果——映画「塔の上のラプンツェル」—— 佐藤沙弥佳
3. スズランをモチーフにした現代風ワンピースドレスの提案——ミュゲコレクションをアイデアソースに—— 内藤 美甫
4. 季節の花を纏うウエディングドレス 加藤里桜奈
5. ユニバーサルファッション——高齢者に向けた洋服のリメイクの提案—— 山本 裕代
6. 冬を表現するフォーマルドレス——「南天の実」を用いて—— 徳永 美里
7. カスタマイズできるバレエ衣装の提案 大原珠奈子
8. PEANUTS の世界観を表現したドレス——チャーリー・ブラウンの片想い—— 山口 晏奈
9. 和紙のおりがみスカート 大野 彩花
10. 衣服による自分らしさの表現——マリーアントワネットに捧げる1着より—— 大淵 優
11. 成人式の服装とジェンダー——性差境界のない和装スタイルの提案—— 楊 天寛
12. ジュンブライドのためのカラードレスの提案——アジサイをデザインソースとして—— 川上 瑞希
13. オリジナルを持たないライブアイドルへの衣装の提案 西窪穂乃果

生 命 倫 理 学

1. 多様化社会の中で紡ぎ出される QOL——近代の合理主義思想に対抗して—— 井上 晴菜
2. 民衆によってもたらされる漫画文化——想像, 思考することの重要性—— 藤井 梢
3. 「痛み」の価値を探る——他者とのつながりを紐解いて—— 白木優季那
4. 終わりがあることの重要性——最善の生を見つめて—— 中村 優希
5. 「信じる」ということの重要性——AI 社会から人間らしさを求めて—— 西岡 茉衣
6. お金持ちなのに幸せでない現代人——自分軸が人生を豊かにする—— 田村 昇子
7. 読み聞かせて育む親子関係——絵本のもつ力—— 松本 香

8. 見失われた献血の意義——他者貢献でつながる未来—— 清水 結衣
9. ストレスフリーな対人関係を築く——幼少期の家庭環境から—— 山園 杏佳
10. 自己受容により変化する他者との関係性——アドラーの幸福論との対話を通して——上野 紗菜
11. 現代社会において恋愛をする意義——過去の呪縛からの解放と自立—— 横井 咲良
12. 自己対話における人形の役割——対人社会を生きたために—— 田中 茉優
13. コンサートの非日常性もたらす効果——宗教集会化した音楽空間から考える—— 濱野 愛美

住 生 活 学

1. リップカラーの違いが肌の見えに与える影響——好ましい印象を与えるリップカラーとは—— 平野 怜奈
2. ヴォーリズ建築における住宅の魅力——近代の日本住宅の変遷に着目して—— 川口 友似
3. 紅茶の色と香りが予想されるおいしさに与える影響 中村 桜
4. 建築化照明が空間に与える影響——コーブ照明とコーニス照明に着目して—— 亀川 晴加
5. ネイルカラーが手肌の色の見えに与える影響 木多見萌佳
6. 北欧の暮らしの魅力——建築・家具から日本との共通点を探る—— 羽場 有沙
7. LED 照明条件の違いが化粧肌の色の見え及び好ましき評価に与える影響 村上 真央
8. 子どもの学びを助けるデザインとは——幼稚園における物的環境に注目して—— 柏井ありさ
9. 食空間の色彩と料理の見た目のおいしさに関する調査研究 有水 彩
10. 職住共存地区における歴史的建造物からみた「地域の色」の特性と継承——京都三条通の色彩に着目して—— 中田 朱音

服 飾 文 化

1. 客室乗務員の制服の変化 前田 亜純
2. おしゃれ指南書からみるワードローブのつくり方 加藤 彩紗
3. ゲームキャラクターにおける歴史的衣装の魅力——ゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」を事例に—— 上田 彩音

＜生活科学部卒業論文題目＞

4. エルメスのスカーフにおける馬関連モチーフの展開 神田 沙弥
5. 日本における化粧の歴史——白・黒・赤の三色が織りなす伝統化粧—— 浅田 夏林
6. ファッションアイテムとしてのスニーカー 岩村 麻衣
7. ファストファッションにおける環境観の変遷——ユニクロのサステナビリティを対象として—— 宇野 佑愛
8. ディズニープリンセスの衣装における女性らしさの表現 菊井 萌子
9. ディオールドレスからみるウェディングドレス 内本 果歩
10. 女性の体型意識に対するファッションの影響 田中 瑞絵
11. 映画から見るハイヒールの存在意義——女性の人生観の視点から—— 鷺野 真子
12. パーソナルカラーの受容とその活用 森田 佳音
13. 女子大生のリクルートスーツの変化——リクルートファッションからリクルートスーツへ—— 坂野 鈴華
10. 伝統と地域の発展の両立——奈良県奈良町『春日若宮おん祭』を事例として—— 芳賀 瑞季
11. SNSの普及に伴う観光行動の変化 藤原 美和
12. 分譲戸建住宅地における景観評価——住宅の形態とその並びに着目して—— 古田日向子
13. コンテンツを利用した地域振興に関する研究——連続テレビ小説を事例として—— 松原 楓

調 理 学

1. 炒め調理がアボカド油の劣化度に及ぼす影響 繁田 未来・徳永 真帆・佐田伊万里
祖父江彩乃・湯原 菜月
2. 冷凍処理がダイコンの味の染み込みと物性に及ぼす影響 林 真由・大庭 咲月・鈴江 真由
3. 冷凍処理がピーマンの色に及ぼす影響 磯島ゆきの・勝間 七海・中川 実紀

食 品 加 工 学

1. β 化抑制酵素を添加した炊飯米の理化学的解析 衛藤 里奈・木下満里代・古林 優
2. 用途に合った抹茶の特性 岩崎 玲花・澤柳 花保
3. 牛肉の凍結条件が解凍調理後の食味に及ぼす影響——家庭用冷蔵庫に保持させるべき機能とは—— 前田 菜帆・野村 花央・山口 茉夕
4. グルコース、マルトース、マルトトリオース修飾鶏筋原線維タンパク質の熱安定性 山中 麻希・吉川 果歩

食 品 栄 養 学

1. 硫黄化合物およびシトルリンの末梢体温調節機能への影響 藤本 真夢・今村 芹那
2. 食事が精神状態に及ぼす影響の新たな客観的評価手法の確立 松尾 彩音・中村由依子
3. 冷温受容体を活性するメントールの長期間摂取がエネルギー代謝に及ぼす影響 井上恵梨子・近藤菜々子・高野 真澄
4. 低カロリー甘味料の併用摂取が脂質代謝に与える影響 笹生明日香・松下 朋子・小田悠里名

食 品 微 生 物 学

1. バナナによる自家培養発酵種のマイクロフローラ解析 藤村 優子・加賀 結衣
仲林 唯・白須賀美菜

都 市 空 間

1. 都市公園の価値の動向——大阪市の3つの公園を事例に—— 田中 史
2. 京都府内の地域鉄道を中心としたまちづくりに関する研究 大谷 茉季
3. 地域におけるコミュニティセンターが果たす役割——滋賀県栗東市における公民館からコミュニティセンターへの移行に着目して—— 上田 りさ
4. 廃校の民間活用による地域活性化に関する研究——むろと廃校水族館を事例として—— 姫田真菜実
5. 滋賀県におけるフードツーリズムの研究 的場 渚
6. 道の駅の地域活性化における役割に関する研究——近畿内の道の駅を対象として——岡本 綾
7. 大宰府市の地域遺産とそれを取り巻く地域住民 山本 薫
8. 滋賀県の宿場町の歴史資源を活かしたまちづくりに関する研究 藤井 優
9. 大阪府におけるコンパクトシティの現状と課題 奥野 愛実

2. 塩抜きした塩漬け桜葉および柏葉の抗菌性
増田 夏海・宮下 玲羽・竹森 彩絵

運動生理学

1. 登山とウォーキングの生理学的応答の比較検討
新井 泉輝・浜川 菜緒・松永 由佳
岡本菜生子・左近 琴乃・三浪 裕夏
2. ジョギングとウォーキングが睡眠に及ぼす影響
久保万理枝・草薙ひなの・中岡 春香
山村 友香・竹村 友里

食品機能学

1. ウンシュウミカンにおけるフラボノイド含有量
と糖度との相関性
福永 千波・佐々木美香・山崎 瑞穂
2. LC/MS/MS を用いた柑橘フラボノイドの高感
度分析法の検討 塩本 佳奈・杉岡 朋香
3. シクロデキストリンによるカロテノイドの可溶
化および細胞への取り込みの検討
村上 佳穂・村上 沙織
4. ビタミン・カロテノイド類の摂取量と動脈硬化
リスクとの関連性 澤田 実里・津田 紗枝
5. 非アルコール性脂肪肝疾患及び肥満と大豆摂取
との関連性 竹内 春香・津村 綾里

公衆衛生学

1. 無機元素分析によるきくらげの産地判別
藤井帆乃花・栗光 紘子・宮崎 麻友
2. 認知症予防を目的としたサプリメントによるミ
ネラル過剰摂取の可能性
中野 満喜・山口 遥
3. ミネラル摂取量の秤量法による計算値と陰膳法
による化学分析値の比較——秤量法値に及ぼす
要因の検討——
緒方 麻衣・田中 響・若木野乃華
4. 褐藻類がミネラルの1日尿中排泄量に及ぼす影
響——ミネラル摂取量のモニタリング指標とし
ての1日尿中排泄量の有効性——
岸本 幸夏・豊田 萌花・植月 友紀

実践栄養学

1. 日本食品標準成分表2015(七訂)の調理後の
食品成分値を用いた高齢者施設入所者の栄養素
等摂取量調査 尾崎沙也加・服部 知世

2. 高齢者施設での活用を目的とした食品のかたさ
の新たな簡易評価方法
松田 梨江・太田 紗彩・八十田あかね
3. 小学生に対する「朝食栄養バランスの自己評価
法」の指導による効果の検討
上谷 万葉・黒田 瑞季・西郷 知江
4. 児童への食育介入による「調理経験」の変化と
「自尊感情」「食事観」「教科に対する関心」と
の関連 池田 歩美・松井 実紅

公衆栄養学

1. オンラインを活用した食育活動による園児及び
保護者の食意識の変化について
森本 麻友・松村かれん・横山 美香
2. 健康管理アプリの改良, 利用状況の把握及びそ
の有用性の検討 松井 萌・重松 紗綾
3. 2016年度から2019年度の高齢者サークルに対
する健康づくり支援とその効果の相関性
西元 茉那・中野 莉絵・鬼辻 奈央
4. 小学生の COVID-19 (コロナ) 禍における食生
活の変容 森川 茉弥・西川 詩乃・中山 里紗

臨床栄養管理学

1. 妊娠前の体型・出生時体重・乳幼児期の発育状
況が女子大学生の体型や体組成に影響を与える
のか 今西佳菜子・南 雅美子・大内 彩香
2. 新型コロナウイルス感染症流行下における管理
栄養士の役割 南 和音
3. 論文検索による COVID-19 感染症患者の栄養
状態についての検討 田淵 咲喜
4. 後期高齢者を対象とした半定量的食物摂取頻度
調査票 (SQFFQ) と計算システムの自作
笹本 真実
5. 知的障害者の健康や栄養問題に関する調査
藤森 美有・岸田 萌花・徳岡 彩香
6. 指標アミノ酸 (13C-Phe) 酸化法を用いた成人
女性の卵胞期と黄体期における摂取たんぱく質
利用効率の比較 石井 里実・岩永 友子

給食経営管理学

1. 病院における調理作業の合理化・効率化に関す
る実態調査——料理の種類数の見直し・削減に
ついて—— 水野江里菜・佐々木史帆
柴原 朱里・白樫 佳奈

＜生活科学部卒業論文題目＞

2. クックサーブ及びクックチル方式で調理した高齢者施設給食における栄養成分値の比較
野畑 有沙・酒井 花緒
脇 優実・山田 千暖
3. 食材料および調理システムが魚料理の栄養成分値に及ぼす影響
塩田麻菜美・津田 詩織・山崎 朱梨

調 理 科 学

1. 塩味増強効果を誘導する和食の煮汁のにおい特性
今面 華菜・山下明日香
2. 桜餅の香りに対する桜の葉の香りの寄与——関西風と関東風の比較から——
上嶋 麻里・古賀ゆうり
3. 家庭で活用可能な嚥下困難者向けの軟飯調製法の確立
北川 貴絵・山本 和紗

食 品 物 性 学

1. 糊化澱粉の等温粘度増大過程における周期的振動は集団同期現象か——米澱粉と玉蜀黍澱粉の比較および混合効果——
米谷 友花・野村菜々子・竹下 真由
2. 低温 NaOH 糊化米澱粉分散液の等温粘度増大過程の澱粉濃度依存性に及ぼす NaOH 濃度の影響——NaOH 濃度とレオロジー的孤立性の関係——
金城 碧衣・松下 星佳
光武侑希乃・植田 紗生

生 化 学

1. 低糖質食摂取が成長期非肥満マウスにおける肝臓での糖質、脂質代謝に与える影響
王 菲菲・尾上 千佳